

補正内容

1. 補正額 **補正額(案)** 国補助内示額 当初予算額
56,356千円 (63,956千円 - 7,600千円 = 56,356千円)

2. 理由

- (1) 現在、市内のノンステップバス導入率は約2.5%と大変低く、事業者に対してノンステップバス導入を働きかけてきたものの、本格的な導入拡大に至っていなかった。しかし今年度に入り、事業者が、車両更新に際し導入台数の大幅な拡大を実施する方針に転換し、国・市に対し支援要望があった。
- (2) 国は法律および基本方針にもとづき、平成25年度補助として63,956千円の交付決定を行い、今後とも支援を継続する方針。
- (3) 市としては、法律に規定された地方公共団体としての責務を果たすとともに、政策推進プランに位置付けた「ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり」の実現のため、この機会を捉え、市民生活の質の向上につながるノンステップバスの普及促進に取り組むもの。

位置づけ

「高齢者、障害者の移動等の円滑化の促進に関する法律」

(国の責務)

第四条 国は、(中略)関係者と協力して、(中略)移動等円滑化の促進のための施策の内容について、(中略)必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(地方公共団体の責務)

第五条第2項 地方公共団体は国の施策に準じて、移動円滑化を促進するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(公共交通事業者等の基準適合義務等)

第八条 公共交通事業者等は(中略)車両等を新たにその事業の用に供するときは、(中略)移動等円滑化のために必要な(中略)基準に適合させなければならない。

「移動等円滑化の促進に関する基本方針」(平成23年3月31日)

2 移動等円滑化の目標 (2)車両等

②バス車両 総車両数約6万台からバス車両の構造及び設備に関する移動等円滑化基準の適用除外認定車両約1万台を除いた約5万台のうち、約70%に当たる約3万5千台について、平成32年度までに、ノンステップバスとする。

政策推進プラン (第9次福岡市基本計画 第1次実施計画)

施策1-1 ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり 《重点事業の概要》

◇公共交通バリアフリー化促進事業【住宅都市局】

高齢者や障がいのある人をはじめ、すべてのバス・鉄道利用者が、安全かつ円滑な公共交通の利用ができるよう、交通事業者が行う鉄道駅におけるエレベーター等の設置やノンステップバスの導入などに補助を行い、バリアフリー化を促進します。

福岡市保健福祉総合計画 第2部 各論 第13章 「ユニバーサルなまちづくり」の推進

◇「ユニバーサルなまちづくり」の推進：(中略)建築物や旅客施設、道路、公園などの新設や改修などに際してはすべての人にとって安全で利用しやすいものとなるよう、継続してバリアフリー化を図っていきます。

福岡市バリアフリー基本計画 第2 各論 3 バリアフリー化の支援と進行管理

- (1) インセンティブ
 ○ノンステップバス導入補助台数の拡大の検討 (平成18年～現在まで、2台/年を導入。)

事業の背景等

1. 背景

国は「移動円滑化の促進に関する基本方針」において、**平成32年度までにバス車両全体の約70%**をノンステップバスとする目標

- (1) 福岡市内ノンステップバス導入率 **約2.5%** (=34台/1367台) ※平成24年度末時点

ノンステップバス導入状況(福岡市内を走るノンステップバス)

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	小計	H25(予定)	H16~H25
導入台数	2	2	4	2	2	2	4	3	13	34	88	122
市補助あり	0	0	2	2	2	2	2	2	2	14	当初予算4台	-
市補助なし	2	2	2	0	0	0	2	1	11	20	-	-

※事業者はこれまで、国の円滑化基準に適合するワンステップバスを優先した車両更新を行ってきた。

- (2) 都道府県別導入状況 **全国第44位**(福岡県)

上位5県

順位	県名	総車両数	導入車両数	導入比率(%)
1	愛知	2240	1399	62.46
2	東京	8488	5266	62.04
3	京都	1789	962	53.77
4	埼玉	1917	981	51.17
5	神奈川	4223	1936	45.84

下位5県

順位	県名	総車両数	導入車両数	導入比率(%)
43	岩手	751	19	2.53
44	福岡	3039	65	2.14
45	沖縄	706	9	1.27
46	秋田	615	7	1.14
47	青森	833	7	0.84

※平成24年3月31日現在 国土交通省出典

2. 補助額算出方法 (国の地域公共交通確保維持改善事業に準拠)

ノンステップバス補助額 次に掲げる金額のうち最も低い金額

- ・ノンステップバス車両価格に1/4を乗じて得た額
 - ・通常車両価格とノンステップバス車両価格の差額に1/2を乗じて得た額
 - ・一台あたり190万円を限度
- ※大型バスの通常車両価格**18,400千円**

事業者方針

国の円滑化基準に適合するワンステップバスへの車両更新から、**ノンステップバスの積極的導入に方針転換(平成25年4月)**

1. 平成25年度 導入計画 ノンステップバス...88台(最大)

総事業費 1,678,750千円

(内訳) 事業者 1,502,416千円

補助要綱に基づく 国費 88,167千円

市費 88,167千円

国補助交付決定額
63,956千円
(約73%の査定)



ノンステップバス

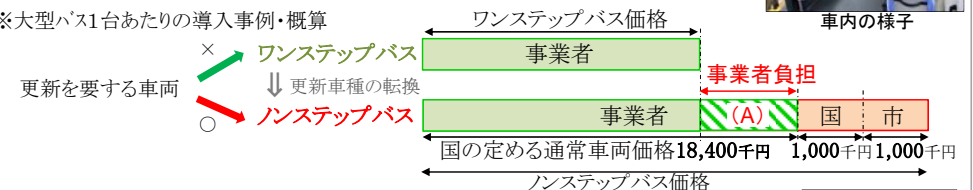


車内の様子

2. 事業者の負担について

従来のワンステップバスへの車両更新に比べ、ノンステップバスに車両更新を行う場合、(A)部分に事業者負担が生じる。(下図参照)

※大型バス1台あたりの導入事例・概算



3. 次年度以降の導入について

車両更新においては、原則ノンステップバスを導入する方針。

※但し、88台の導入ペースを維持した場合でも、平成32年度末の**導入率は約52%**

※補助額は、平成25年度導入計画における補助の上限。